

大社小だより

出雲市立大社小学校

平成23年12月22日(木)

12月6日(火)はお忙しい中、公開授業、講演会、学級懇談にお越しいただきありがとうございました。保護者の皆様からお伺いしたこと等について、今後それぞれの子どもたちの教育や生活に生かしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

さて、2学期も早いもので本日で終わりとなりました。2学期を振り返って、子どもたちは、体育会、きつきっこ発表会(ムジカランド)、各学年の行事やなかよし活動(全校縦割り班活動)などに頑張って取り組み、充実感を味わうことができました。また、各学年の学習においても、熱心に取り組み成果をあげています。

さらに、11月25日(金)には県社会科教育研究大会が行われ、本校では3~6年の各クラスずつが社会科の授業公開を行いました。県内の多数の先生方が来校され、授業参観や研究協議に参加していただきました。参加者からは、児童の取組や研究の取組に対して、よい評価をいただきました。

冬休みを迎えるに当たって、次の3点のことを子どもに話しています。

◎お手伝いをする

家庭で話し合い、継続してお手伝いをする。お手伝いにより、家族の一員としての自覚と責任が生まれてきます。

◎規則正しい生活をする

「早寝早起き朝ご飯」で元気な一日をスタートさせることや、テレビやゲームを長時間見たりやったりしないことなど、気を付けてほしいと思います。

◎学習などを計画的にする

2学期の復習や読書を行ったり、新年の決意をたてたりする。



明日の23日(金)から冬休みを迎えますが、休み中は年末・年始で忙しい時期と思います。この18日間(12月23, 24, 25日, 1月8, 9日, 例年より5日長い)を子どもたちが家庭で有意義に過ごせるよう、保護者の皆様の御協力をよろしくお願いします。

ほかほか人権集会

12月6日(火)の3校時に、アイディア委員会主催でほかほか人権集会が体育館で行われました。

最初は、各学級代表による人権標語の発表でした。全員が堂々と発表していました。標語は、次のとおりです。



人権標語の発表

- ・話せるよ自分の気持ち 聞いてあげるよあなたの気持ち
- ・ぼくの手で たくさんの人を助けるよ
- ・仲間はずれ いやなことはやっちゃだめ
- ・友達は大切にしよう 宝だよ
- ・友達の悪口言ったら 悲しいよ
- ・考えて やっていいこと悪いこと
- ・助け合う気持ち一つで 明るい笑顔
- ・小さなうそ 心に残る大きな傷
- ・一言で救える命 きっとある
- ・SOS ぼくは気付くよ君の声
- ・たくさんの笑顔つくれる 思いやり
- ・一人じゃない みんながそばにいるからね
- ・合図出す その子の心に問いかけて
(低学年から順に並べました。ひらがなを一部漢字に直しています。)

次に、委員会の児童による「赤いかいじゅうと青いかいじゅう」の読み聞かせがあり、全校の児童は耳を澄まして聞き入っていました。姿が見えずにいがみ合っていた2匹の怪獣が、最後にはお互いが出会って仲良くなるという内容で、仲良く

することの大切さを教えてくださいました。

そして、委員会の児童による劇（仲間はずれにしたり、仲間に入れたりする内容）があり、また、言われてうれしい「ほかほかことば」のベスト5の発表がありました。次のことばでした。



ほかほかことばの発表

- 1位 ありがとう
- 2位 だいじょうぶ？
- 3位 いっしょにあそぼう
- 4位 がんばれ
- 5位 すごいね

最後は、歌を歌い、感想を発表して終わりました。

人権の大切さ、友達の大切さをじっくりと考えることができた素晴らしい人権集会でした。

ピカピカ集会

12月14日（水）の朝の全校集会において、クリーン委員会の計画でピカピカ集会が行われました。

全校の児童に対して、正しい掃除の仕方をビデオや呼びかけにより説明しました。



掃除の仕方の説明

こと。

二つ目は、ほうきの正しい使い方、モップのように使わないこと。また、ほうきや雑巾の上に乗らないこと。

三つ目は、掃除用具の片付け方で、ほうきをきちんと掛けることと、雑巾を名前が見えるように

掛けること。

全員が静かにこの発表を聞いていました。そして、ピカピカ集会の成果がすぐに現れ、その日の午後の掃除から、児童はいつもよりさらに熱心に丁寧に掃除を行っていました。今後、ますます学校が綺麗になることでしょう。

子ども公民館活動について

今年の9月、大社町内の全小中学校が「学校と地域の総合的な活性化」について文部科学省の研究指定を受けました。この事業は、当初4月からの実施予定が、東日本大震災により約5か月遅くなったようです。

現在、地域の方や保護者の方が学校に来ていただき、子どもたちのためにいろいろ支援をいただいています。つまり、学校支援ボランティア（きづき学校応援隊）の支援で、学校を活性化いただいています。

今回のこの活動は、簡潔に述べると「学校が地域を活性化する」ものといえます。学校（子ども）が考えた取組や今まで行ってきた取組を地域に働きかけ、地域（杵築地区）を活性化するというものです。

児童会等の中に「子ども公民館」を設置し、各学年の地域学習などやその他の活動を取り上げ、地域に発信していくようになります。その他、活動として、環境美化活動、挨拶運動、おもてなし運動、作品展示などが、考えられます。

現在、3年生が社会科や総合的な学習の時間で作成した「出雲市自慢クイズ！」は、神門通りの「香りプレッセ」に展示させていただき、ご覧になった方からのアンケートもいただいています。また、県立古代出雲歴史博物館において委員会が毎月交替で花を飾っていることや、クラブの作品を掲示していることもこの活動の一部と考えています。さらに、吹奏楽部が地域で演奏会を行うこともこの一環です。

今後、さらにこの活動を進め地域の活性化の一助となればと思っています。

皆様の御理解、御支援をよろしくお願いします。